

ローランドディー・ジー株式会社

2019年12月期 第2四半期
決算説明会

2019年8月9日

 Roland

2019年12月期の方針

- ✓ **製品ラインナップの拡充によりプリンターの売上高を、下げ止める**
- ✓ **成長ステージに向かうべく必要な投資を、積極的に行う**
- ✓ **事業別組織により事業運営をスピードアップし、軌道に乗せる**

2019年12月期 第2四半期 連結業績

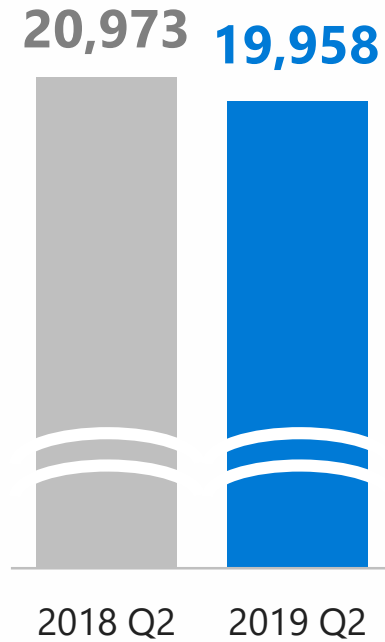
- ✓ サイン市場向けプリンターは新製品を投入も、既存製品が減少し、前年同期から減少
- ✓ デンタル加工機は増加したものの、3Dものづくり製品が減少し工作機器は前年同期並み
- ✓ 営業利益、経常利益は為替の円高の影響もあり減少

2019年12月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

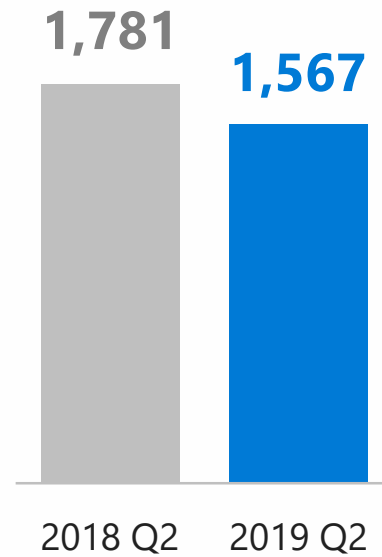
売上高

△4.8%



営業利益

△12.0%



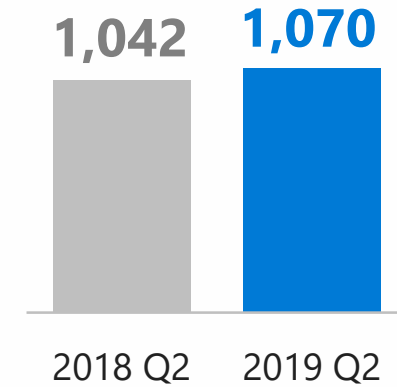
経常利益

△8.9%



四半期純利益[※]

+2.6%

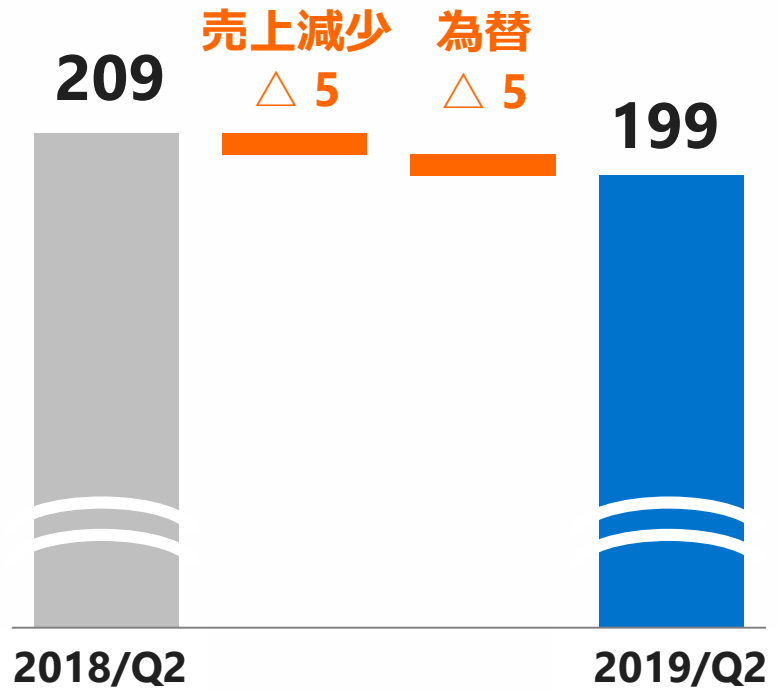


※四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期期純利益

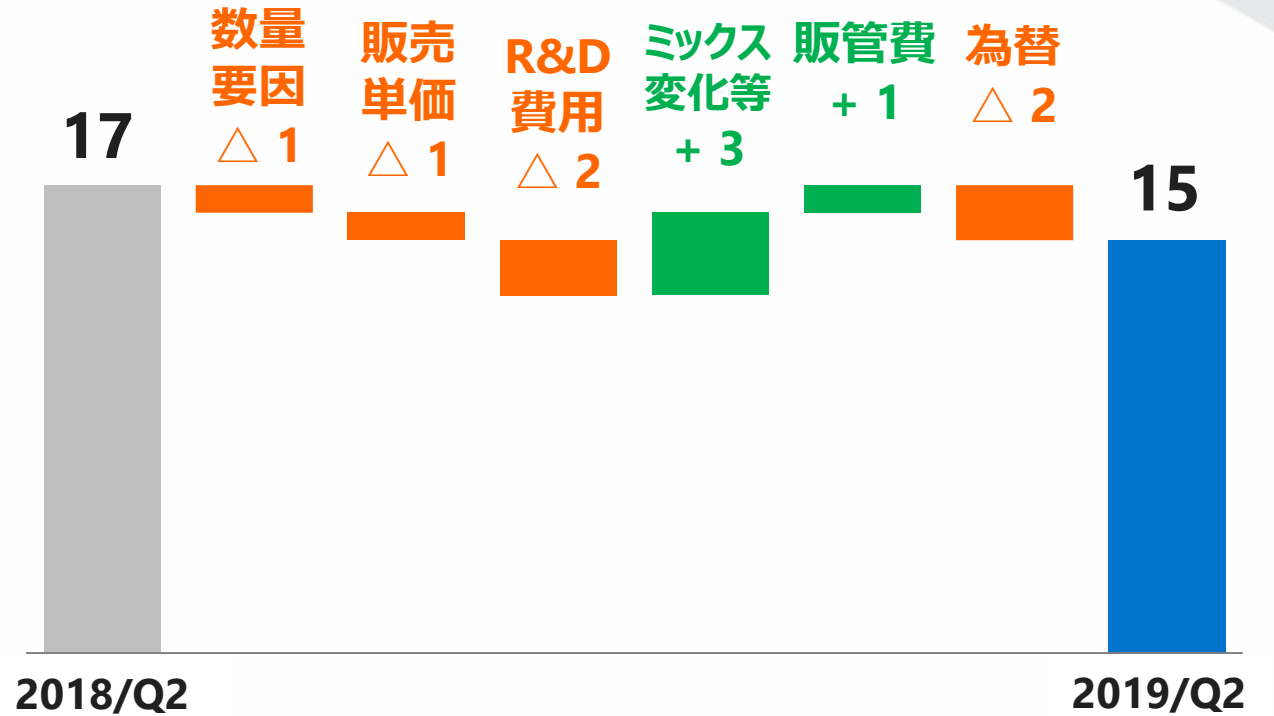
売上高・営業利益 増減要因 前期比

(単位：億円)

売上高



営業利益



期中平均レート
(単位：円)

	2018/Q2	2019/Q2	
USD	108.69	110.06	101.3%
EUR	131.67	124.35	94.4%

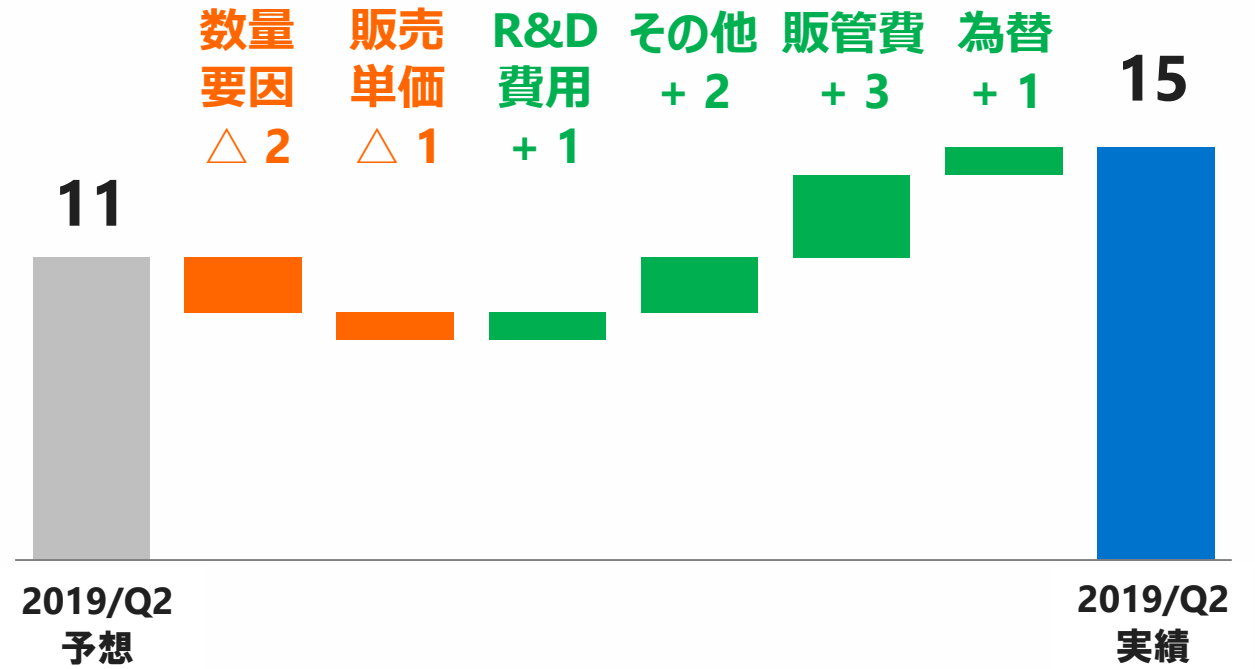
売上高・営業利益 増減要因 予想比

(単位：億円)

売上高



営業利益



期中平均レート
(単位：円)

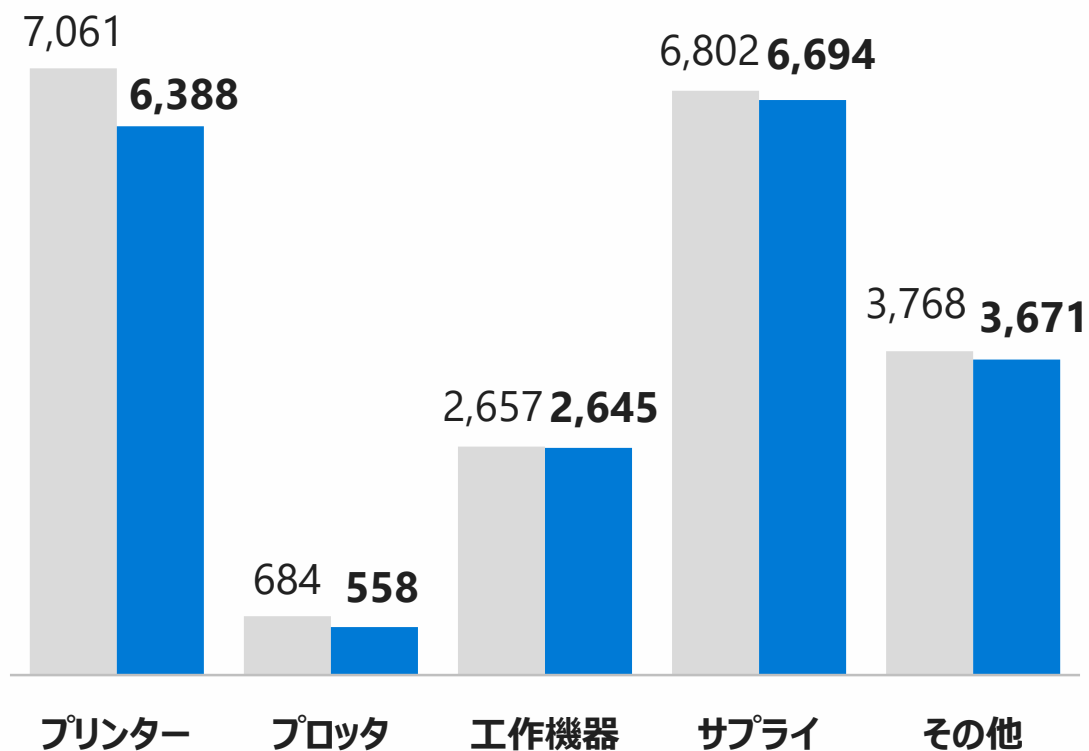
	2019想定	2019/Q2	
USD	105.00	110.06	104.8%
EUR	125.00	124.35	99.5%

2019年12月期 第2四半期 品目別売上高

(単位：百万円)

■ 2018 Q2

■ 2019 Q2



プリンター

- ✓ サイン市場向けプリンターが減少
- ✓ 新製品を投入も既存製品が減少

プロッタ

- ✓ サイン市場向け大型製品が減少

工作機器 (DGSHAPE)

- ✓ デンタル加工機が増加
- ✓ 3次元切削加工機と彫刻機は減少

サプライ

- ✓ UVインクやテキスタイル向けインクが増加も、サイン市場向けインクは減少

その他

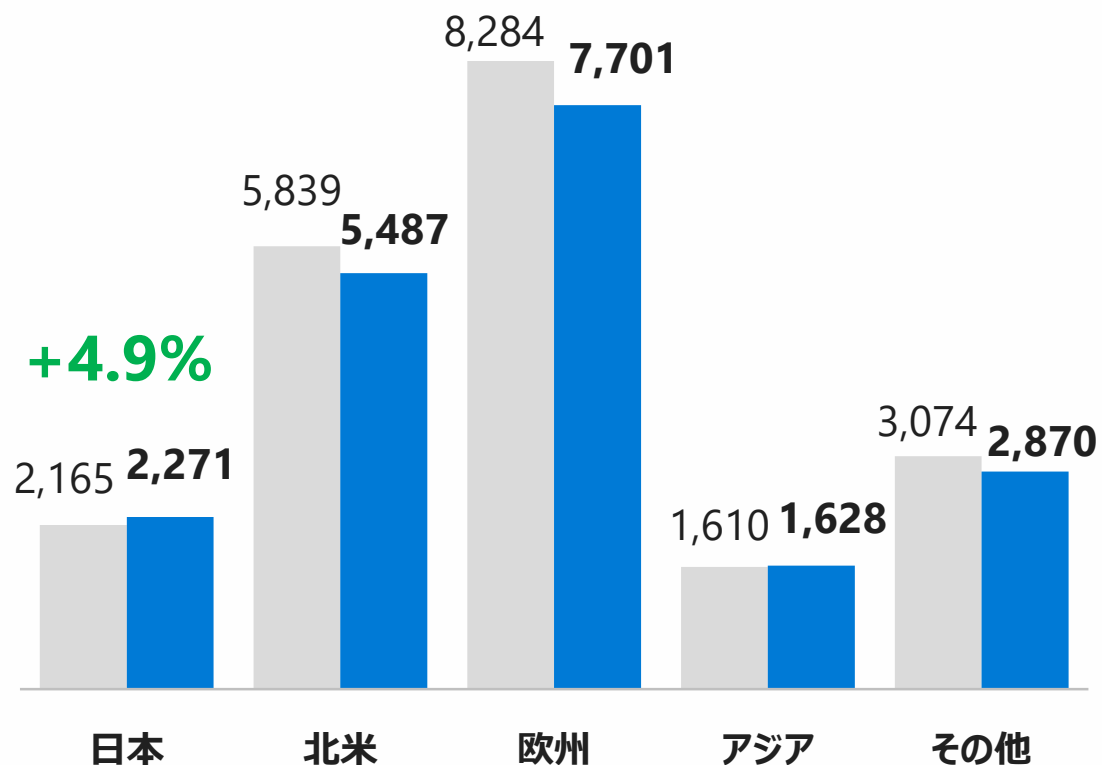
- ✓ サービスパーツは前年同期並み

2019年12月期 第2四半期 地域別売上高

(単位：百万円)

■ 2018 Q2

■ 2019 Q2



日本

- ✓ 新製品効果でサイン市場向けプリンターが増加
- ✓ デンタル加工機が減少

北米

- ✓ 新製品効果でサイン市場向けプリンターが増加
- ✓ UVプリンター、デンタル加工機が減少

欧州

- ✓ サイン市場向けプリンターが減少
- ✓ デンタル加工機が増加
- ✓ ユーロに対する円高が影響

アジア

- ✓ 韓国とASEANが増加
- ✓ 中国でサイン市場向けプリンターが減少

その他

- ✓ 豪州でサイン市場向けプリンターが堅調
- ✓ 南米地域ではサイン市場向けプリンターが減少

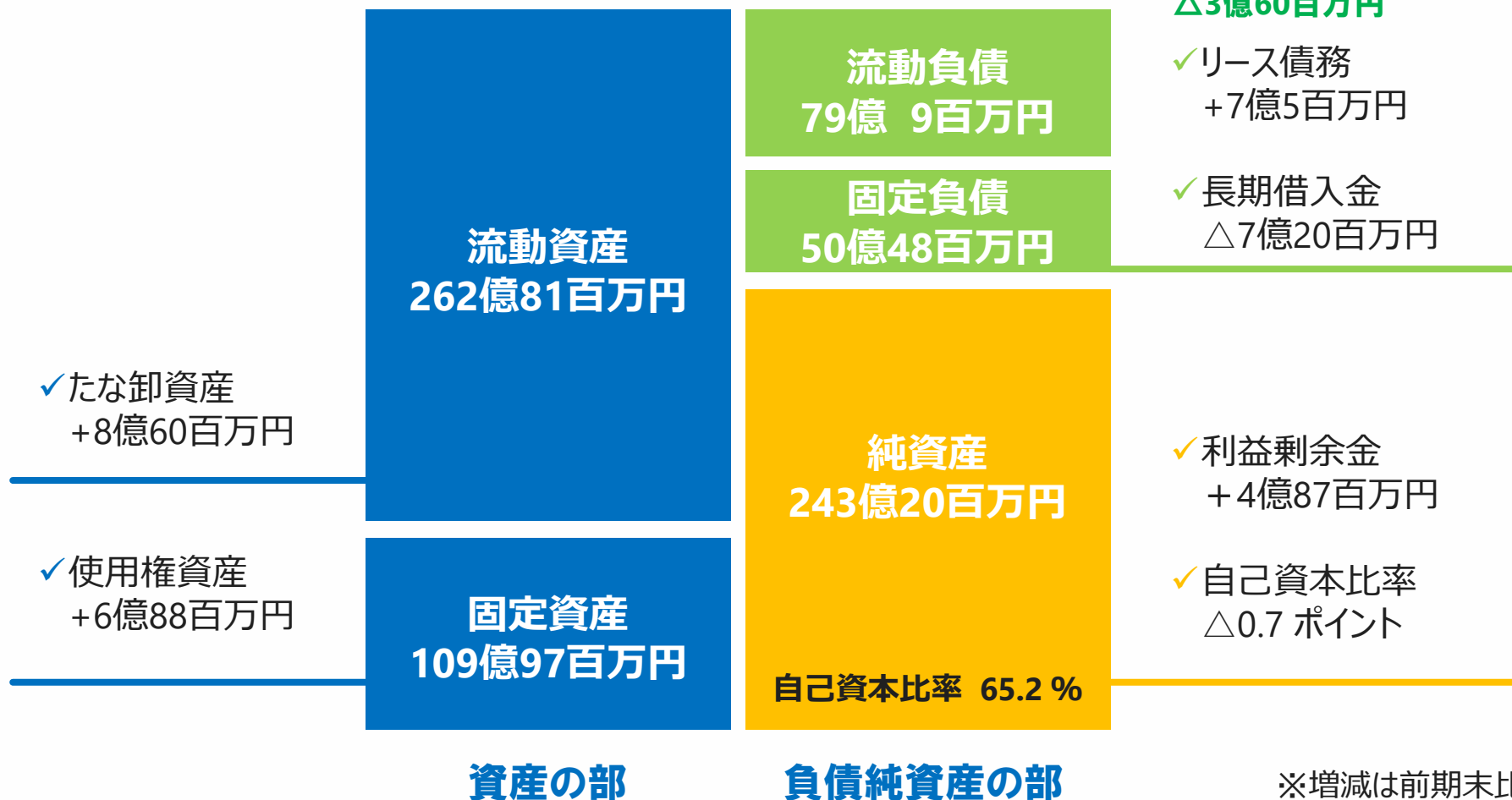
要約連結貸借対照表(2019年6月30日現在)

総資産 372億79百万円

**有利子負債総額 28億80百万円
△3億60百万円**

✓リース債務
+7億5百万円

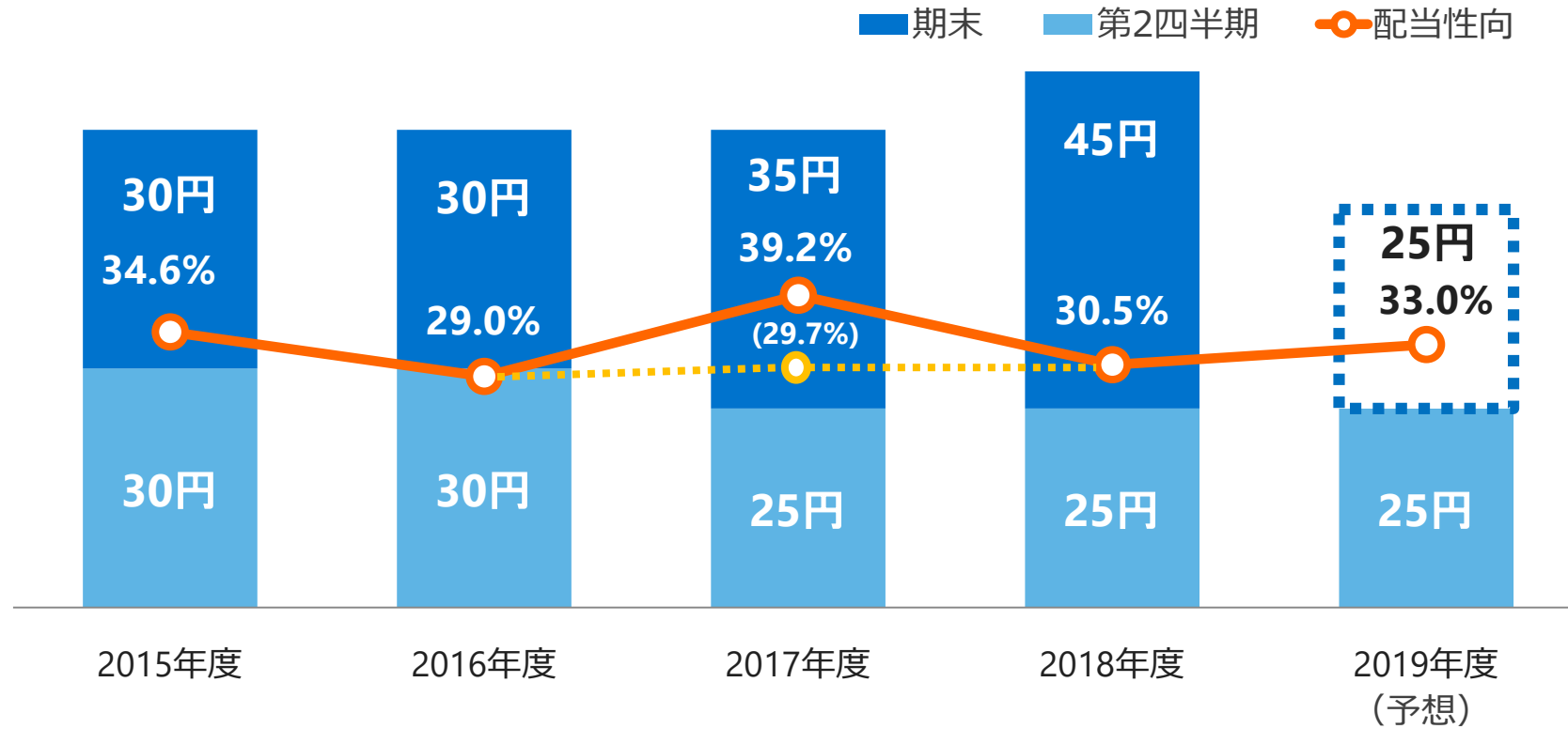
✓長期借入金
△7億20百万円



※増減は前期末比

配当予想

2019年度：第2四半期25円、期末25円の年間50円を予定
年間の予想配当性向は33.0%

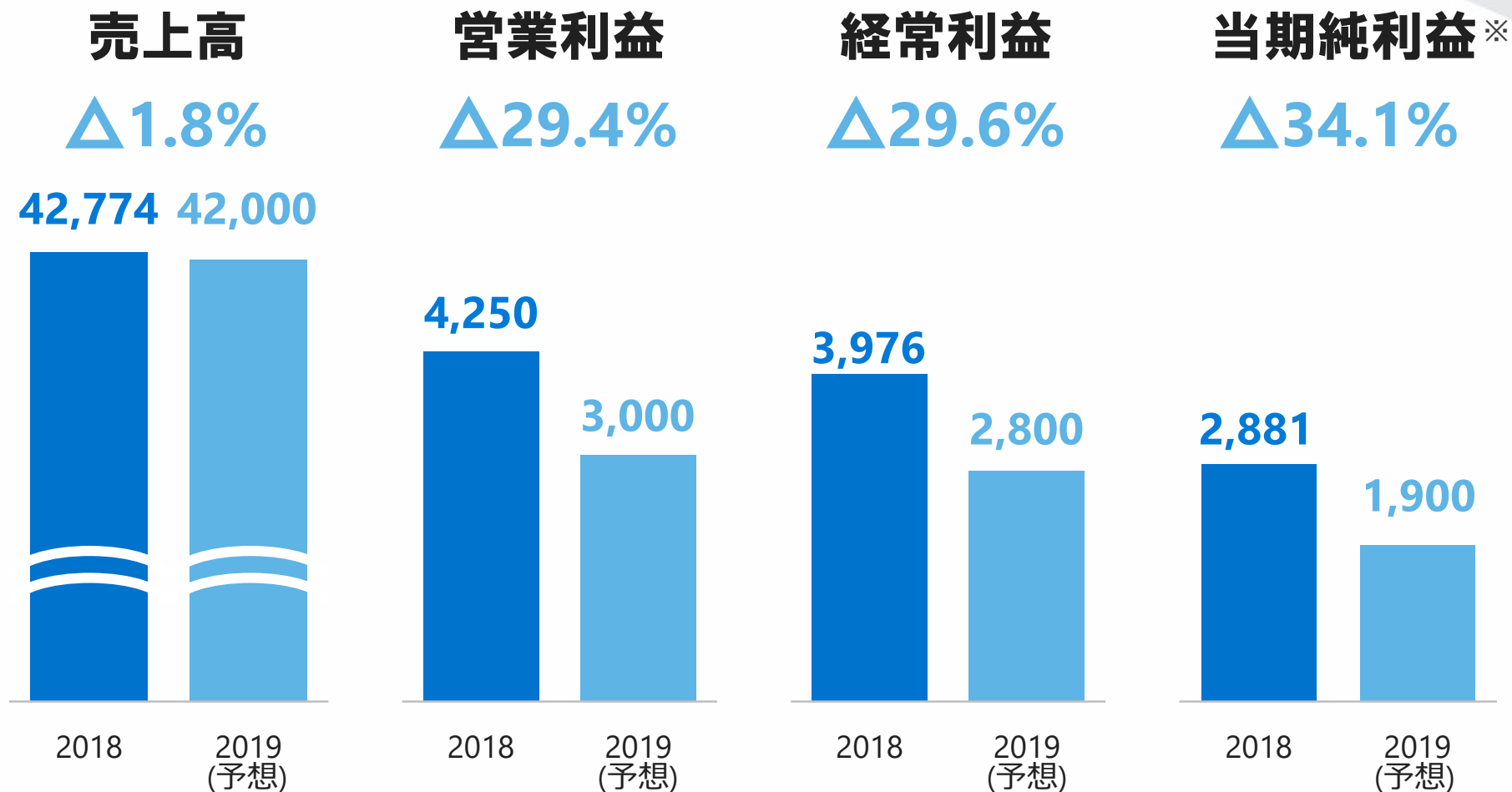


※ 黄色点線は特損等の特殊要因を除いた場合

2019年12月期 通期 連結業績予想

2019年度 連結業績予想

(単位：百万円)



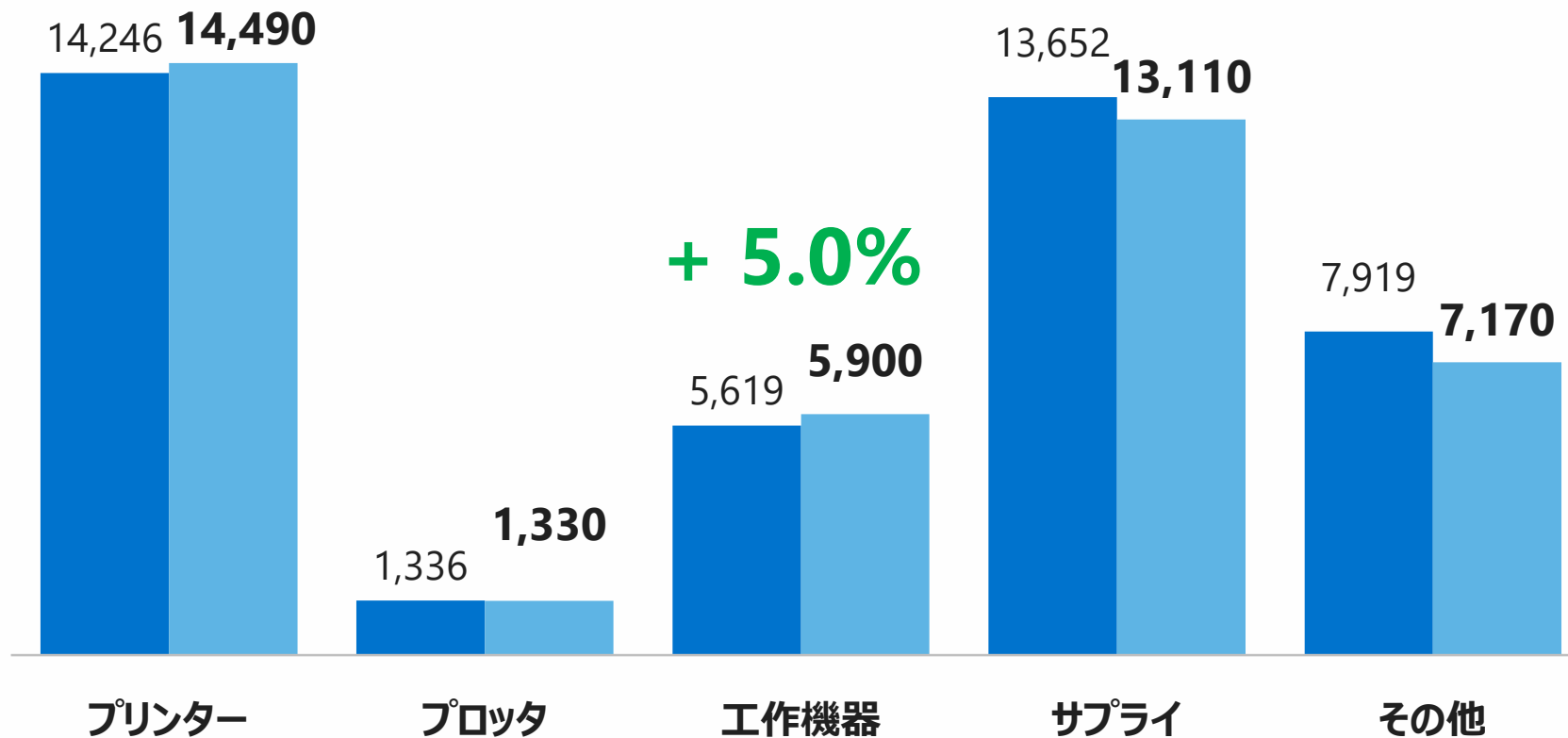
※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

2019年度 品目別売上高予想

(単位：百万円)

■ 2018 ■ 2019 (予想)

+ 1.7%

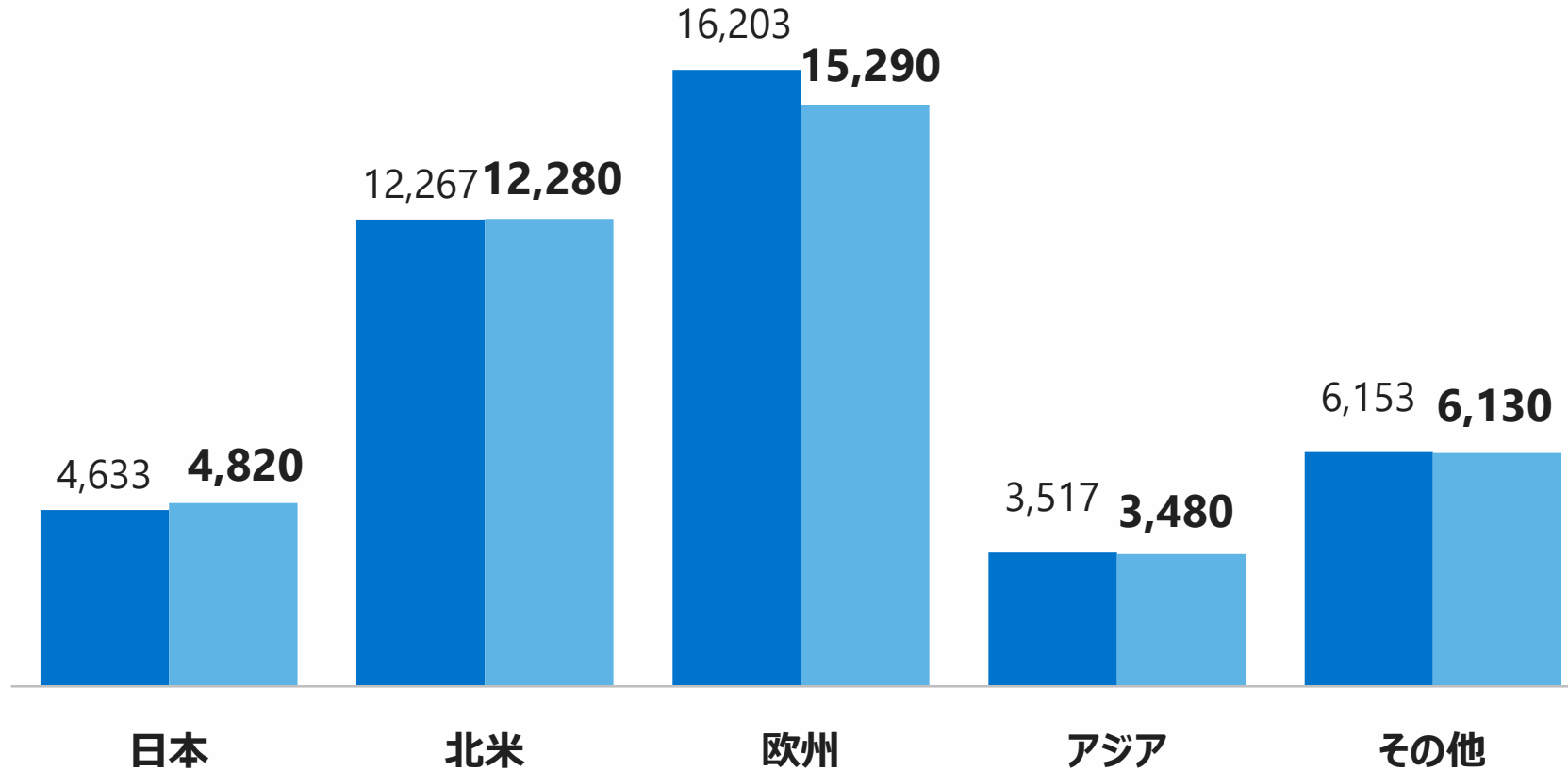


2019年度 地域別売上高予想

(単位：百万円)

■ 2018

■ 2019 (予想)



事業の概況

当社の事業分野



デジタル
プリンティング
事業



COTO(コト)
事業

DGSHAPE
事業





デジタル プリンティング 事業

COTO(コト)
事業

 DGSHAPE
事業

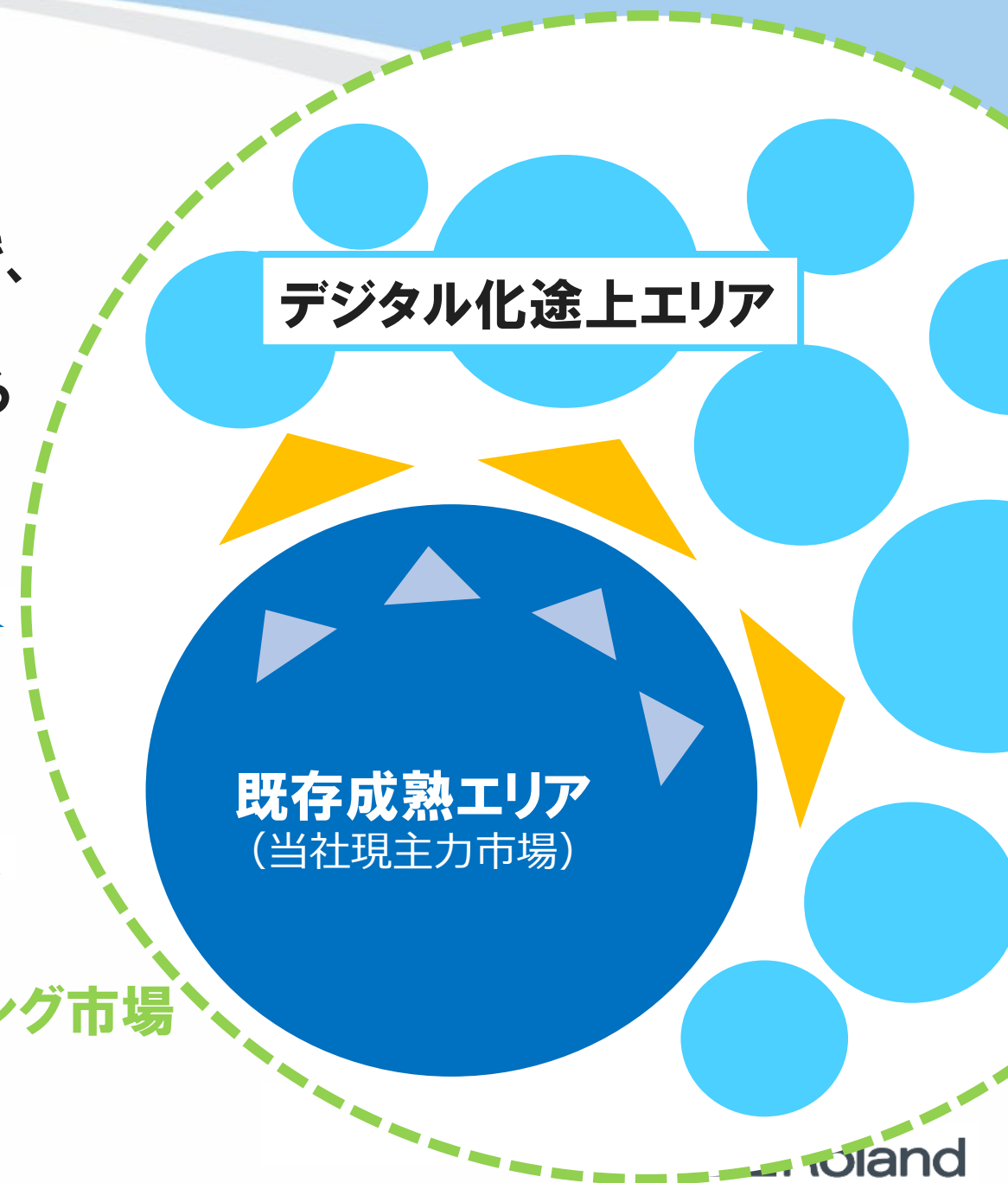
デジタルプリンティング事業 重点課題

多様な用途に対応できるソリューションを提供し、
デジタル化によるプロセス革新を推進することで、
既存顧客のビジネス拡大に貢献するとともに、
新たなデジタルプリンティング市場を創出する

製品力の強化、新製品の投入で現在主力市場の
サイン向け売上を下げ止め、維持する

地域パートナーとの協業（Co-Creation）で、
製品サービスのラインナップを拡充し、デジタル化途上
である周辺市場や新たな市場の拡大を推進する

デジタルプリンティング市場



新製品: TrueVIS VG2-640/540

「見る人の心をとらえ、動かす」当社史上最高の表現力を持った、サイン製作用大型インクジェットプリンターの新製品



▶ 新色オレンジを含む新開発のTR2インク



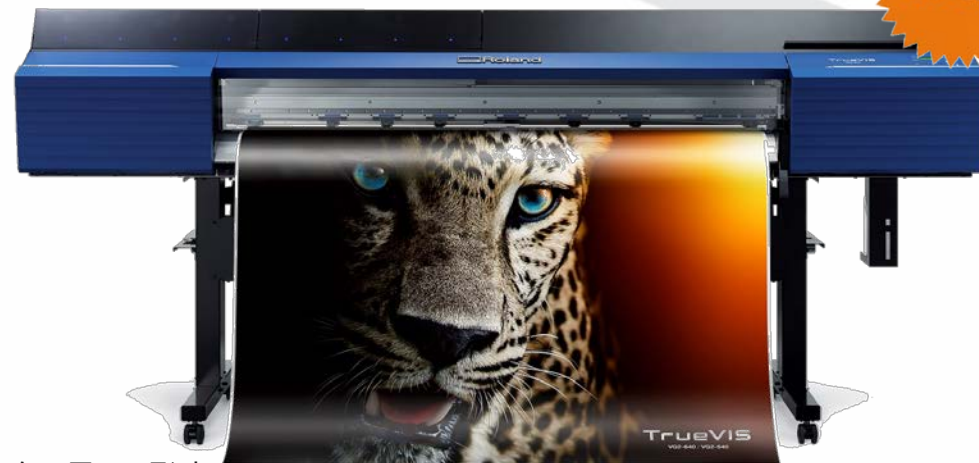
▶ TR2インクの広い色域を最大限発揮する新開発の印刷設定「True Rich Color (トゥルーリッチカラー)」によりワンランク上の表現が可能



▶ ・プリント&カット機能がさらに進化
・印刷シートを挟むピンチローラーを新しく自動昇降式とし、最適な印刷とカッティングを実現



▶ 出力加工品の耐用年数を保証する3M社のMCS保証プログラムに対応



2019年3月5日発表

TrueVIS VG2-640 VG2-540



バナー



ステッカー



車両装飾

業界の著名な賞を受賞

幅広いインクのバリエーション、広い色域、滑らかな階調表現、優れた色再現性、進化したプリント&カット機能などに高評価



米国ISA International Sign Expo®
2019年「イノベーションアワード」を受賞

欧州のデジタル印刷業界で
最も権威ある「EDPアワード」を受賞



右から：グローバルセールス&マーケティング本部長 Eli Keersmaekers
アメリカ販売子会社 CEO Andrew Oransky
DP事業部 副事業部長 繁野谷 隆文

右：欧州マーケティング責任者 Gillian Montanaro

VG2-540ユーザー事例

株式会社ギケン 様

(看板用資材やインクジェットプリンターの代理店でありながら自社で印刷業も行う)

TrueVIS VG2-540をいち早く導入し、大型看板や公共看板などの製作に活用

「色表現が素晴らしく、見る人にインパクトを与えるような画質を実現できるプリンターだと思います。」



「オレンジインクのおかげで夕日のオレンジや芝生の緑、空の青が突き抜けて自然な色になります。」

「金属やガラスの素材感、温度まで伝わってくるような印刷表現ができ驚きました。」



新製品: VersaUV LEF2-200

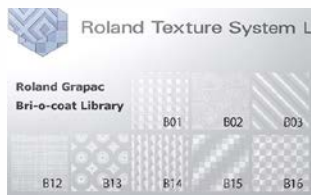
多様な素材や形状に色鮮やかなグラフィックや立体的な特殊印刷ができるフラットベッド方式のUVプリンターの新製品



- ▶ インクを吐き出すプリントヘッドを常に最適な状態に維持するクリーニング機能を搭載
フルカバー構造で安全性にも配慮



- ▶ 高低差2mmまでの曲面への対応や、伸縮性を持ったインクにより、硬いものから柔らかいもの平面から曲面まで幅広く対応



- ▶ 透明インクで光沢感や凹凸のあるリアルな質感を持った立体的な表現が可能となり、特別で付加価値の高い印刷を実現



- ▶ プラスチックや革、木材、布などさまざまな材料に高精細なフルカラー印刷が可能



VersaUV
LEF2-200

2019年3月5日発表



スマートフォン
ケース

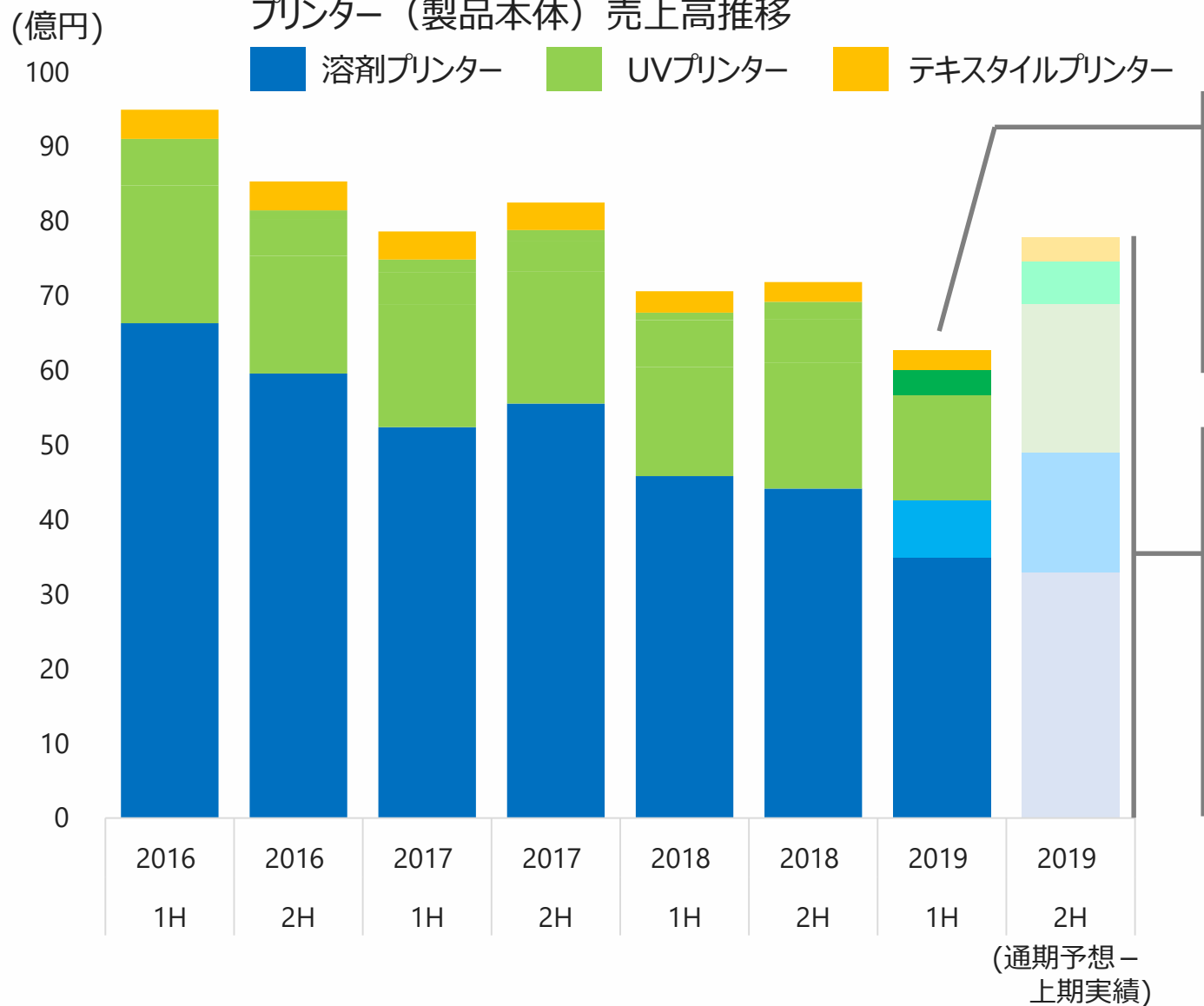


オリジナル
グッズ



トロフィー
記念品

プリンター売上高推移と2019年下期の取り組み



- 溶剤プリンター（VG2シリーズ）新製品効果
- UVプリンター（LEF2-200）新製品効果

・ 3月発売の新製品2機種がプリンター売上を下支え

下期売上を伸ばし、プリンター売上の下げ止めを図る

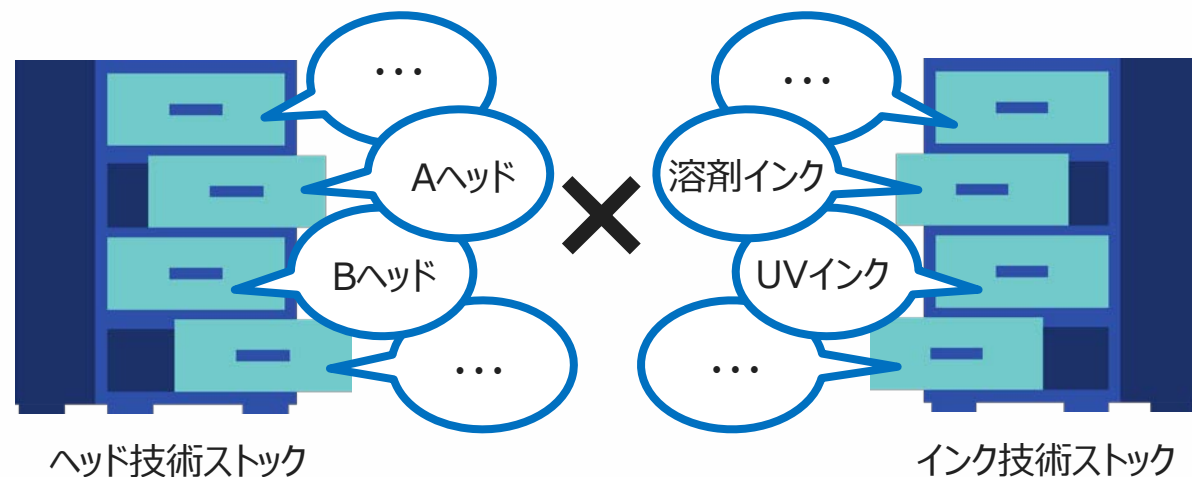
- ・ 新製品販売の強化（買い替え需要の喚起）
- ・ 新製品の機能、性能を他のモデルへ展開
- ・ 地域限定Co-Creation製品の他地域への展開

事業拡大に向けた技術開発



ヘッドとインクの組み合わせでそれぞれの用途に最適なインクジェットソリューションを提供し、デジタルプリンティング市場を拡大する

ヘッド、インク技術の強化
それらの組み合わせ技術の強化
インク多色化で「高画質」に磨きをかける





デジタル
プリンティング
事業

COTO(コト)
事業

 DGSHAPE
事業

COTO事業が目指すこと

「コトづくり」を通じて
贈る人、受け取る人、使う人の
想いをカタチにする



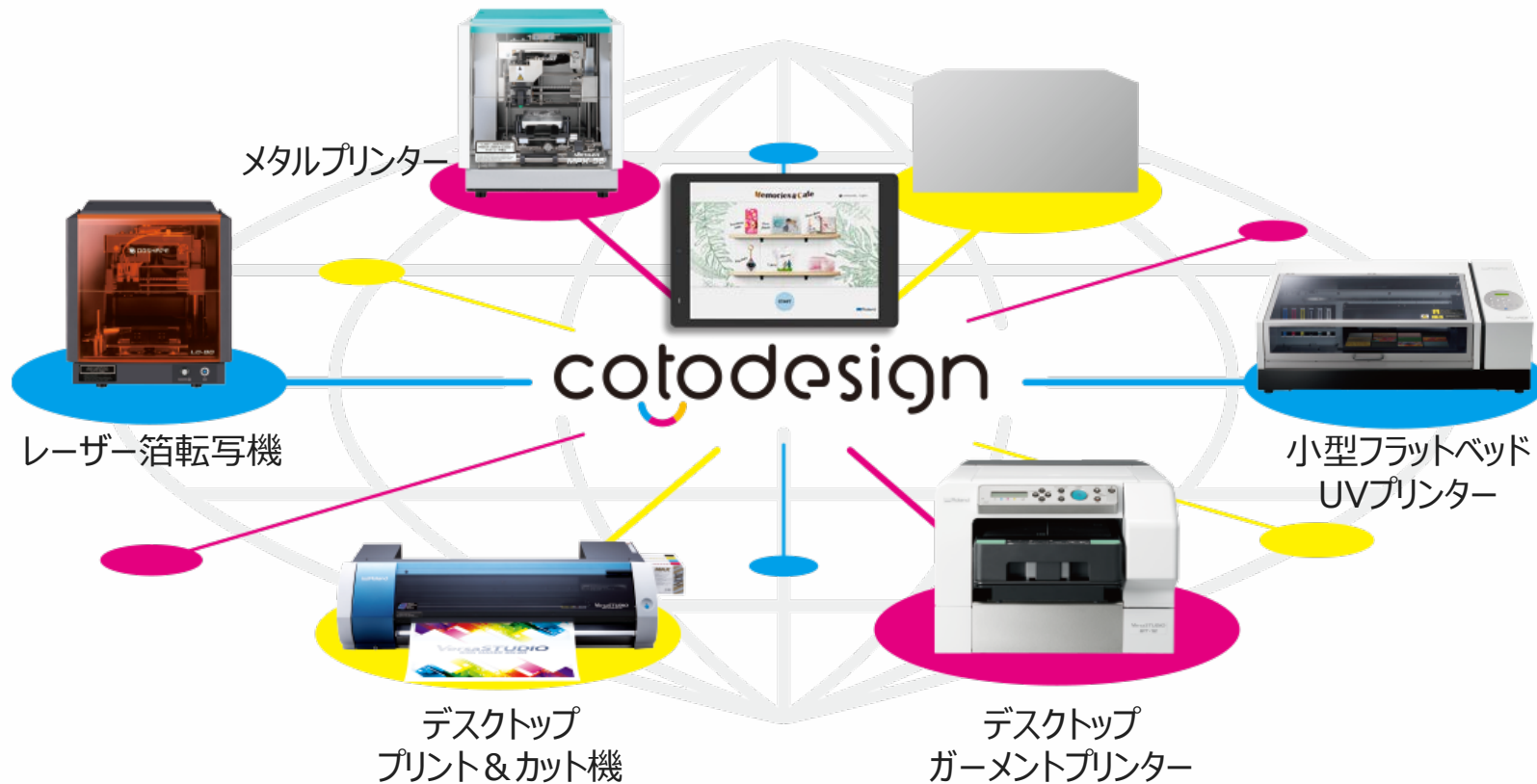
オリジナルグッズ製作の
ための製品・サービスで
「コトづくり」を提案

店舗でのオリジナルグッズ製作
体験型サービス

cotodesignソフトを中心としたビジネス提案

お客様のイベントを演出するオリジナルグッズのデザインを、
お客様自身がタブレット上で簡単に制作することができるソフトウェア「cotodesign」

つながる機器を順次増やすことで、より一層魅力的なオリジナルグッズ製作サービスを提案



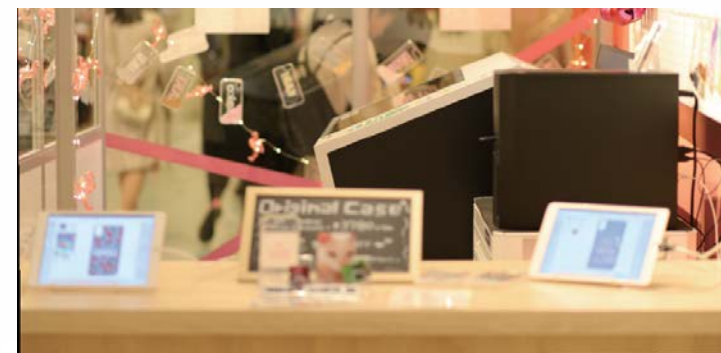
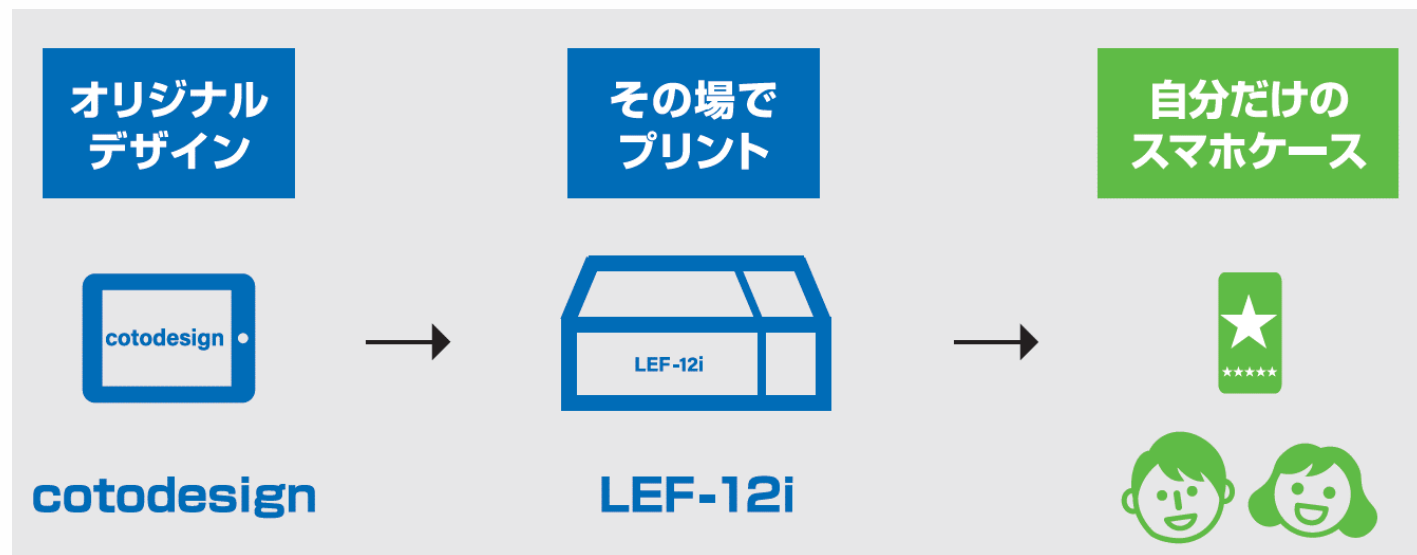
cotodesignソフトと製品をセットにした導入事例

サムライワークス株式会社様 COLLABORN TOKYO 難波店

cotodesignとUVプリンター LEF-12iをセットで導入し、お客様自身がオリジナルデザインを「創る」サービスを実現

「cotodesign の操作はシンプルでわかりやすく、スタッフもお客様も迷うことなく使っています。」

「お客様は友達と一緒に cotodesign を使ったデザイン作成を楽しまれています。」



積極的な用途開発

ホンダ様の軽自動車 N-VANのイベント企画で、来場者の似顔絵を印刷した、世界に一つだけの車型キーホルダーを、N-VANに載せたUVプリンターで製作する「コトづくり」を実施



イラストレーターちひろさんによる
似顔絵制作



cotodesignを使って
似顔絵を配置



UVプリンターなど当社製品を
載せた「COTO VAN」



UVプリンターで似顔絵を
キーホルダーに印刷



2019年2月23日-24日 Honda ウェルカムプラザ青山にて



世界に一つだけの
キーホルダー

COTO事業では、人々に驚きや感動を与え、 笑顔を作り出す「コトづくり」を提案



デジタル
プリンティング
事業

COTO(コト)
事業

 DGSHAPE
事業



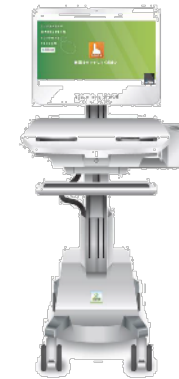
デンタル



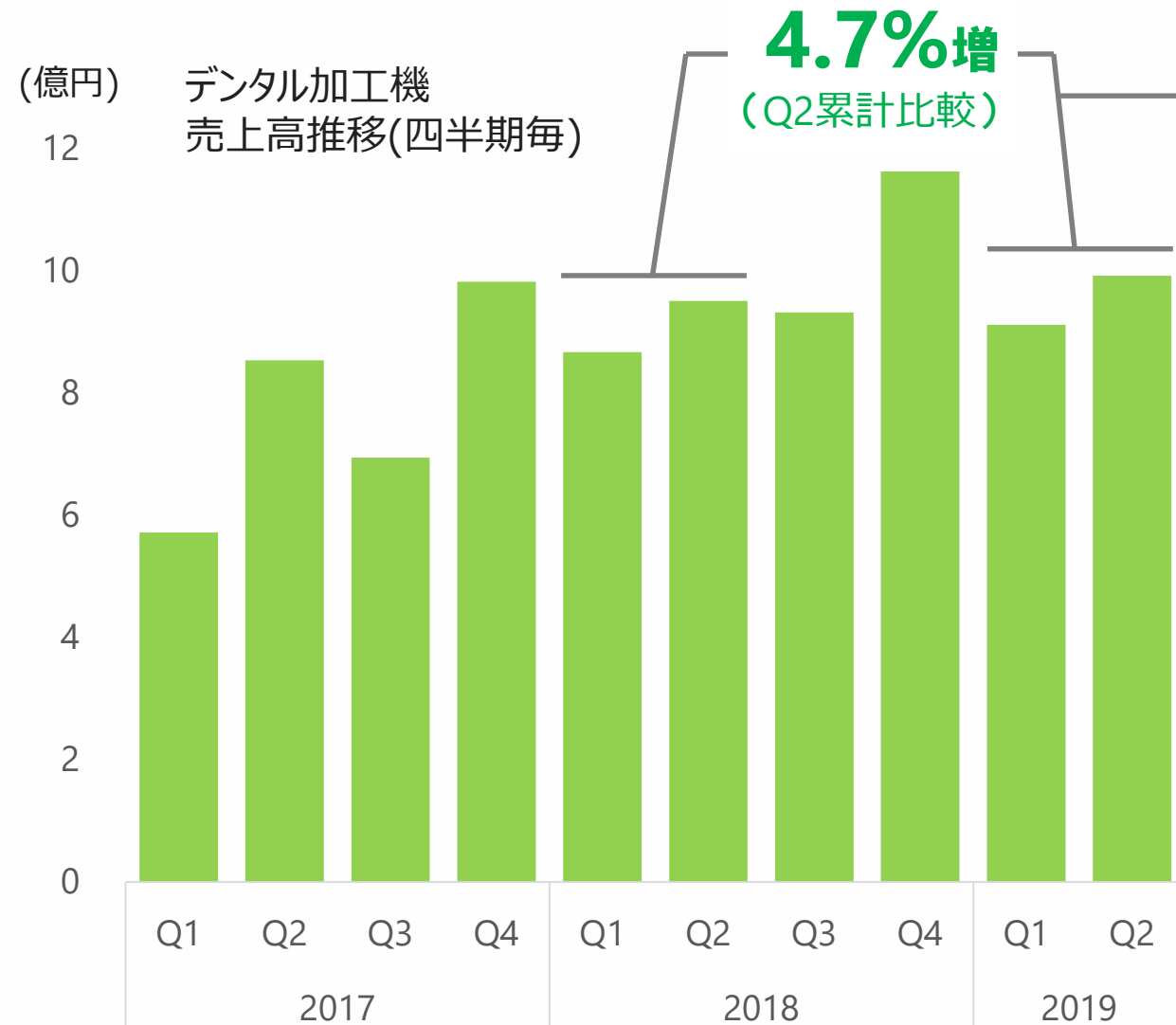
3Dものづくり



医療支援システム



デンタル加工機売上高推移と増加要因



【 前年同期比 増加要因 】

- 2018年10月発売のウェット加工機の新製品DWX-42W効果
- 先進国において生産機DWX-52DCiの需要増加
- 販売網の開拓により新興国での販売が増加

【 期初見通しとの差異要因 】

- 2年に1度開催される世界最大の展示会「IDS」による買い控えの影響
- 前期Q4に大きく販売が伸びたことによる反動

IDS（ケルン国際デンタルショー）2019

デンタル業界 世界最大の展示会 IDS 2019 に出展
DGSHAPE が持つ全ての製品サービスを展示し、最新のソリューションを提案



IDS 2019 : ドライ&ウェットソリューション

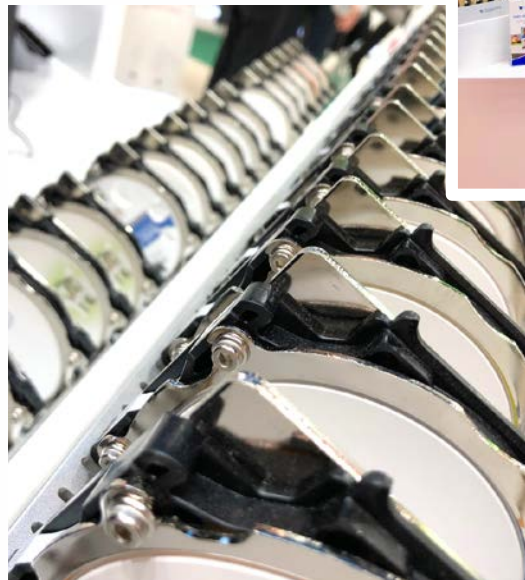
ドライ加工とウェット加工それぞれのフラッグシップモデルを強調

DGSHAPEの強みの一つとして、ドライ&ウェット 2つの加工方式によるソリューションを提案



デンタル加工機DWX-52DCi
(ドライ加工)

さまざまな材料がセットされた
ディスクチェンジャーユニットを並べ、
材料対応力と長時間連続加工が
可能であることを視覚的にアピール



デンタル加工機DWX-42W
(ウェット加工)

自社開発スピンドルとそれを使って
切削した大量のサンプルを展示し、
スピンドルの品質や耐久性など
信頼性が高いことをアピール



IDS 2019 : 顧客層別の提案

歯科技工所、歯科クリニックそれぞれのニーズに合わせたソリューションを幅広く提案



ラボゾーン

高生産性モデルをはじめとして
業務効率化に重点を置いた
歯科技工所向けソリューションを提案



クリニックゾーン

ウェット加工モデルや小型モデル
などを軸に、1day治療の実現を
目指した院内(クリニック内)技工所
向けソリューションを提案



セミナーシアター

著名な歯科技工士や歯科医であり、
当社のユーザーでもある
KOL (Key Opinion Leader)による
セミナーを開催

新たにデジタル化が進む領域への提案強化

これまでのデジタル化の主流

歯科技工所での クラウン・ブリッジ製作



DWX-52DCi



今後デジタル化が進む領域

デンチャー（入歯）製作

材料コスト削減と切削時間短縮を実現する
デンチャーベース製作キットを提案



デンチャートレイ作成



切削



完成

院内（クリニック内）技工所でのクラウン・ブリッジ製作



自社開発スピンドルとマシン剛性の向上によって、加工時間の短縮を実現したDWX-42Wで院内技工所への提案を強化



DWX-42W

新たな成長ステージに向けて

2020年の中期経営計画目標達成に向け
引き続き事業活動と運営体制の
強化に取り組む

2019

2020

2021

【中期経営計画の位置づけと重点課題】

成長ステージに向けた転換期

- ・ 成長分野の拡大
- ・ サイン市場向けプリンター売上への下げ止め
- ・ 収益性の改善

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（2019年8月9日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

Appendix

2019年12月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2018年度 Q2		2019年度 Q2				前年同期比		
	実績	売上比	期初予想	売上比	実績	売上比	増減額	比率	為替影響除外 実質ベース
売上高	20,973	100.0%	20,900	100.0%	19,958	100.0%	△1,014	95.2%	97.7%
売上総利益	9,354	44.6%	8,700	41.6%	8,887	44.5%	△467	95.0%	99.4%
販管費	7,573	36.1%	7,600	36.4%	7,320	36.7%	△253	96.7%	98.8%
営業利益	1,781	8.5%	1,100	5.3%	1,567	7.9%	△214	88.0%	101.7%
経常利益	1,627	7.8%	1,000	4.8%	1,483	7.4%	△144	91.1%	106.4%
四半期純利益	1,042	5.0%	700	3.3%	1,070	5.4%	27	102.6%	121.5%
EPS (円)	83.15		55.75		85.32				
為替レート (円)	USD	108.69	105.00		110.06				
	EUR	131.67	125.00		124.35				

(単位：百万円)

為替 影響額	売上高	△543
	営業利益	△244

※ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

2019年12月期 第2四半期 品目別売上高

(単位：百万円)

	2018年度 Q2	2019年度 Q2		前年同期比	
	実績	実績	構成比		為替影響除外 実質ベース
プリンター	7,061	6,388	32.0%	90.5%	93.2%
プロッタ	684	558	2.8%	81.6%	83.4%
工作機器 (DGSHAPE)	2,657	2,645	13.3%	99.6%	102.4%
サプライ	6,802	6,694	33.5%	98.4%	100.9%
その他	3,768	3,671	18.4%	97.4%	101.1%
合計	20,973	19,958	100.0%	95.2%	97.7%

2019年12月期 第2四半期 地域別売上高

(単位：百万円)

	2018年度 Q2	2019年度 Q2		前年同期比	
	実績	実績	構成比		為替影響除外 実質ベース
日本	2,165	2,271	11.4%	104.9%	104.9%
北米	5,839	5,487	27.5%	94.0%	92.8%
欧州	8,284	7,701	38.6%	93.0%	98.4%
アジア	1,610	1,628	8.1%	101.1%	103.2%
その他	3,074	2,870	14.4%	93.4%	97.4%
合計	20,973	19,958	100.0%	95.2%	97.7%

2019年12月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2018年度		2019年度 予想		前期比		
	実績	売上比	予想	売上比	増減額	比率	為替影響除外 実質ベース
売上高	42,774	100.0%	42,000	100.0%	△774	98.2%	101.9%
売上総利益	19,094	44.6%	18,100	43.1%	△994	94.8%	103.2%
販管費	14,844	34.7%	15,100	36.0%	256	101.7%	104.4%
営業利益	4,250	9.9%	3,000	7.1%	△1,250	70.6%	96.5%
経常利益	3,976	9.3%	2,800	6.7%	△1,176	70.4%	98.1%
当期純利益	2,881	6.7%	1,900	4.5%	△981	65.9%	93.7%
EPS (円)	229.66		151.33				
為替レート (円)	USD	110.44	105.00				
	EUR	130.45	125.00				

(単位：百万円)

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

		USD	EUR
為替感応度 (2018実績ベース)	売上高	124	112
	営業利益	90	50

2019年12月期 品目別売上高予想

(単位：百万円)

	2018年度		2019年度 予想		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比		為替影響除外 実質ベース
プリンター	14,246	33.3%	14,490	34.5%	101.7%	106.0%
プロッタ	1,336	3.1%	1,330	3.2%	99.5%	104.1%
工作機器 (DGSHAPE)	5,619	13.2%	5,900	14.0%	105.0%	109.0%
サプライ	13,652	31.9%	13,110	31.2%	96.0%	100.0%
その他	7,919	18.5%	7,170	17.1%	90.5%	93.5%
合計	42,774	100.0%	42,000	100.0%	98.2%	101.9%

2019年12月期 地域別売上高予想

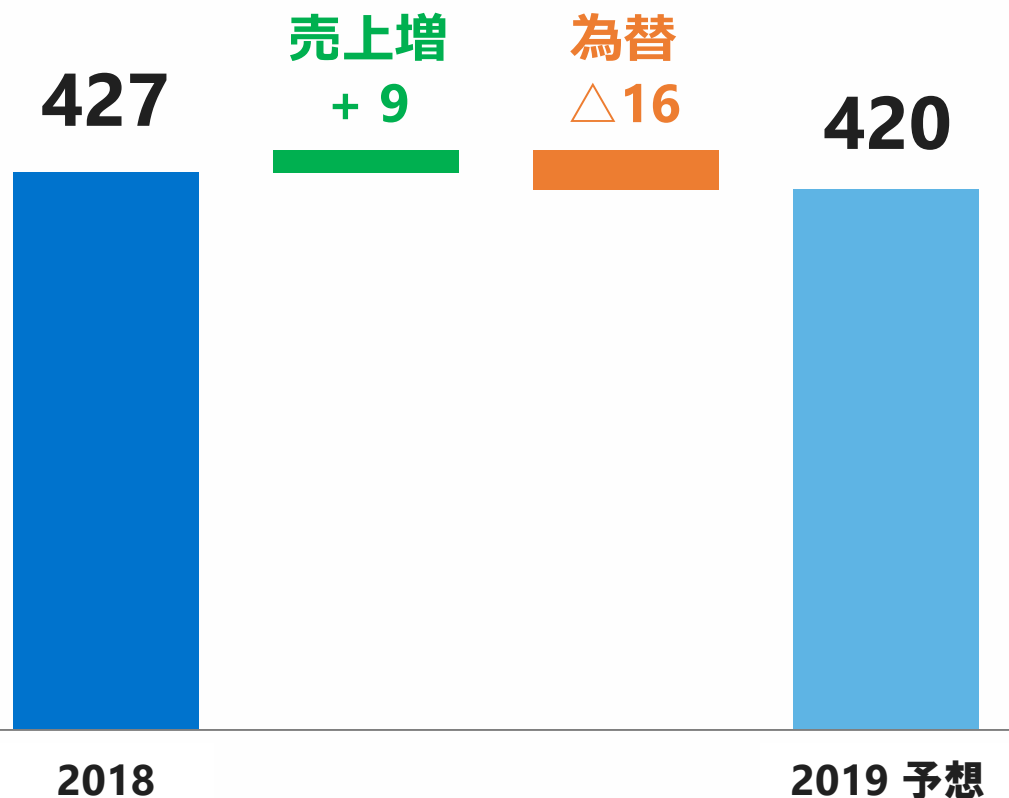
(単位：百万円)

	2018年度		2019年度 予想		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比		為替影響除外 実質ベース
日本	4,633	10.8%	4,820	11.5%	104.0%	104.0%
北米	12,267	28.7%	12,280	29.2%	100.1%	105.4%
欧州	16,203	37.9%	15,290	36.4%	94.4%	98.6%
アジア	3,517	8.2%	3,480	8.3%	98.9%	100.7%
その他	6,153	14.4%	6,130	14.6%	99.6%	103.9%
合計	42,774	100.0%	42,000	100.0%	98.2%	101.9%

売上高 増減要因 前期比

(単位：億円)

売上高



- ▶ プリンター製品群のラインナップ拡充によりプリンター売上高が増加
- ▶ デンタルが引き続き成長し、工作機器の売上高が増加
- ▶ 為替影響：マイナス16億円 (2018年比 円高想定のため)
為替影響を除外した場合：436億円 (2018年比 9億円増)

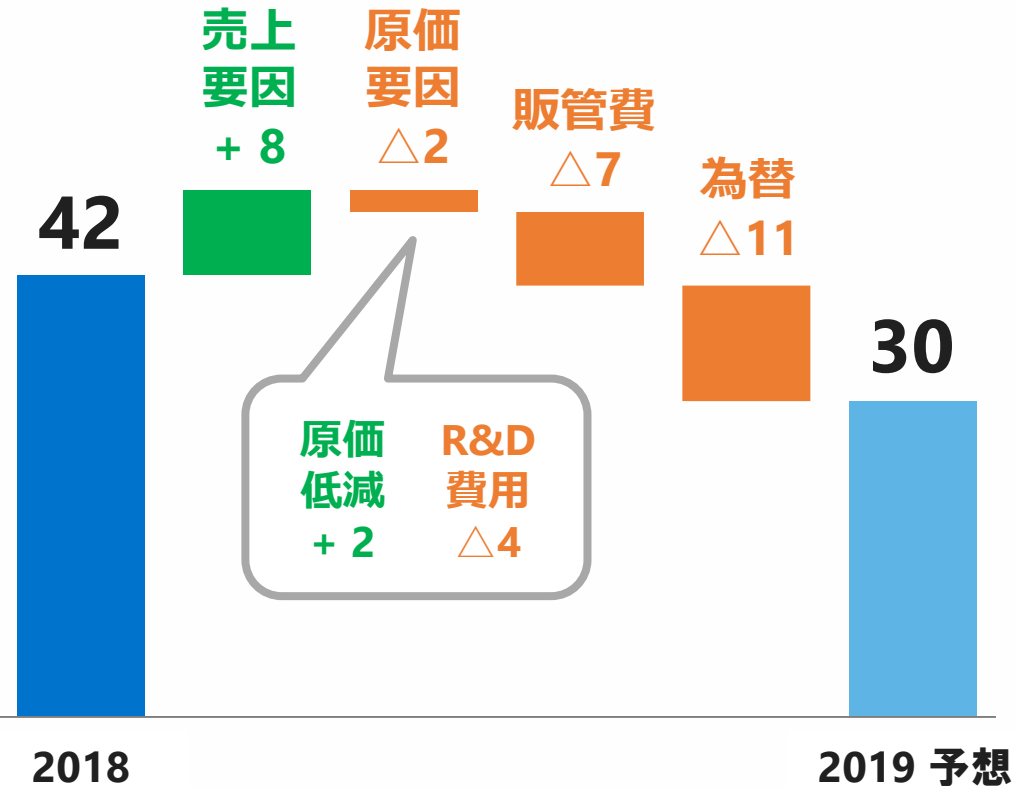
期中平均レート (単位：円)

	2018	2019 想定	
USD	110.44	105.00	95.1%
EUR	130.45	125.00	95.8%

営業利益 増減要因 前期比

(単位：億円)

営業利益



- ▶ 売上増加と原価低減で粗利改善 10億円
- ▶ 将来の成長や事業活動強化に向けた積極的な費用投資
- ▶ 為替影響：マイナス11億円 (2018年比 円高想定のため)
為替影響を除外した場合：41億円 (2018年比 1億円減)

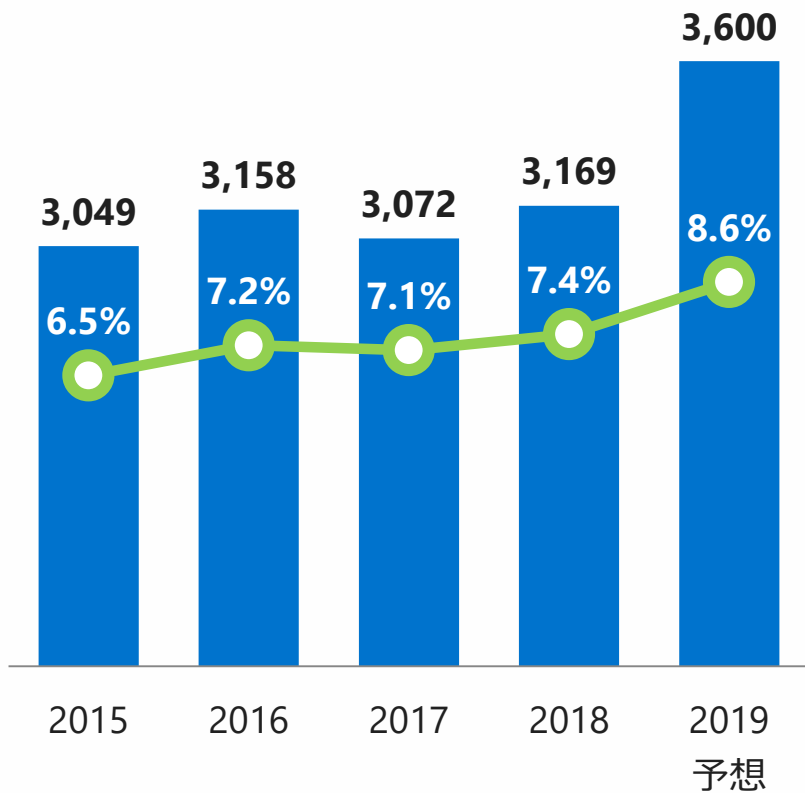
期中平均レート (単位：円)

	2018	2019 想定	
USD	110.44	105.00	95.1%
EUR	130.45	125.00	95.8%

研究開発費、設備投資額・減価償却費の推移

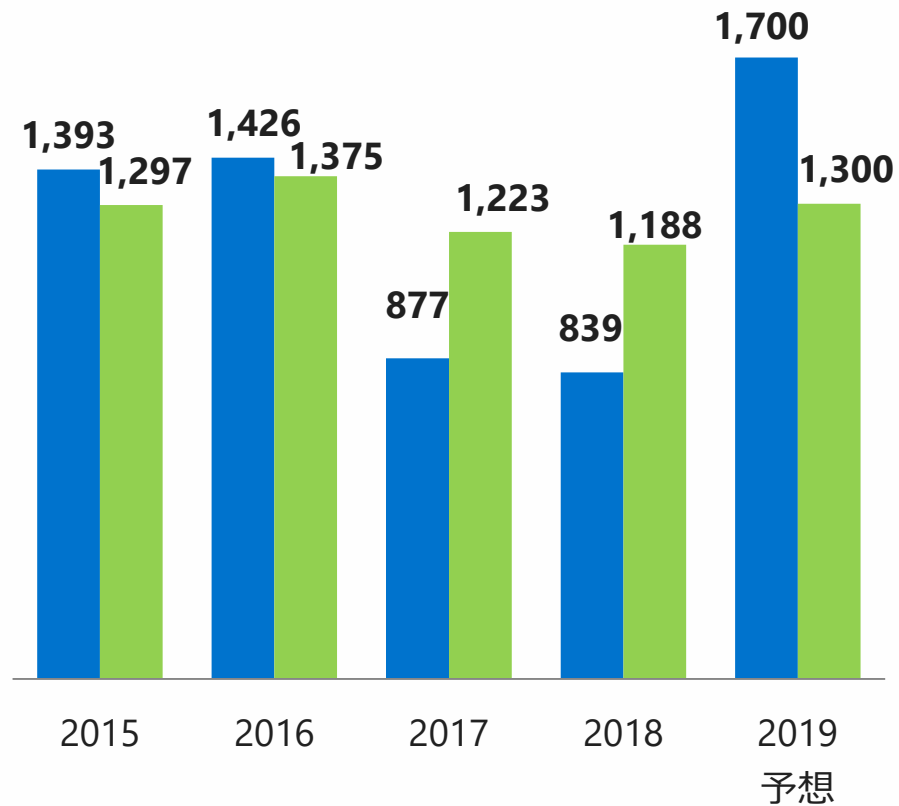
(単位：百万円)

■ 研究開発費 ● 研究開発費比率



(単位：百万円)

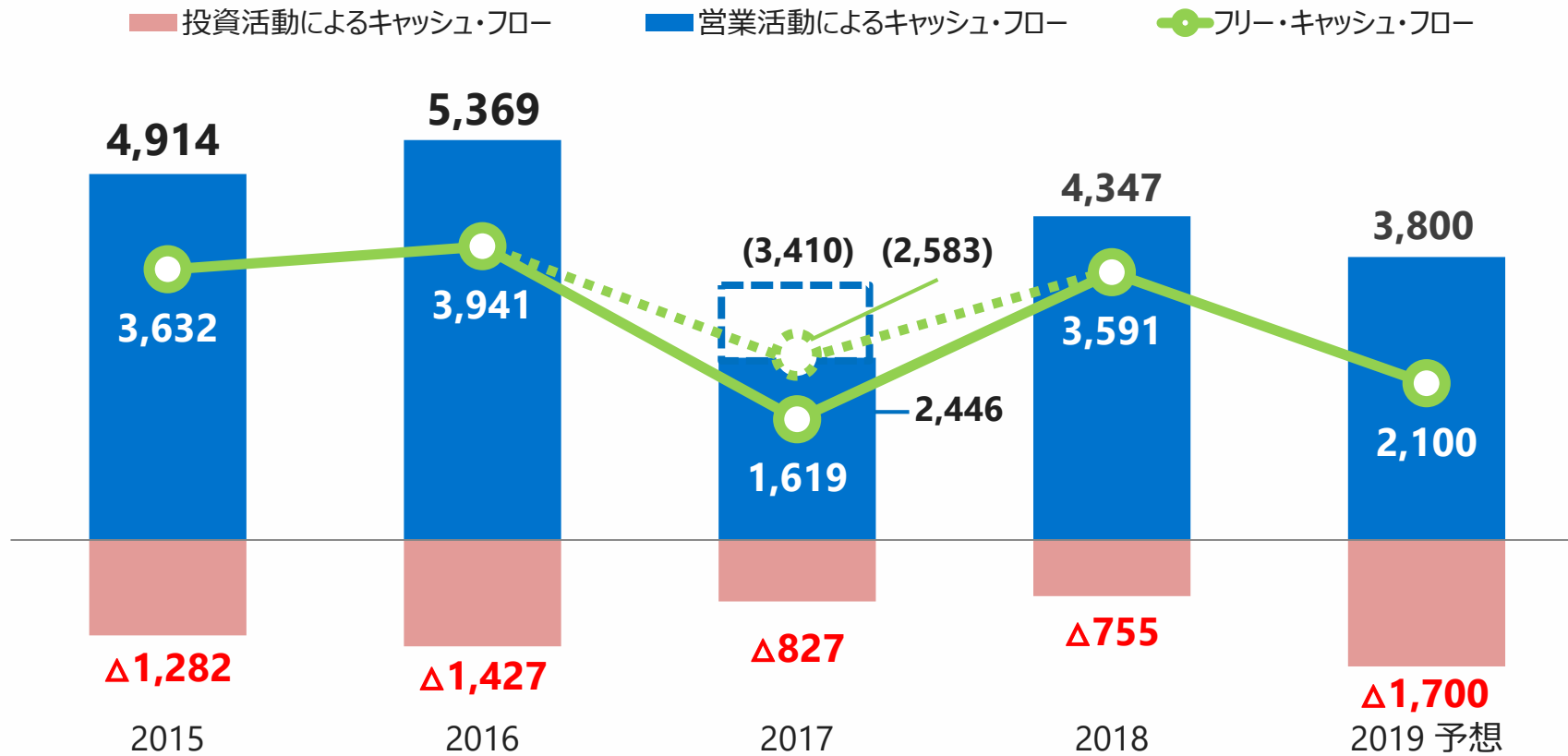
■ 設備投資 ■ 減価償却費



※ 2015年度は12ヶ月決算へ補正した数値

フリー・キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)



※ 2015年度は12ヶ月決算へ補正した数値
 ※ 点線は特損等の特殊要因を除いた場合

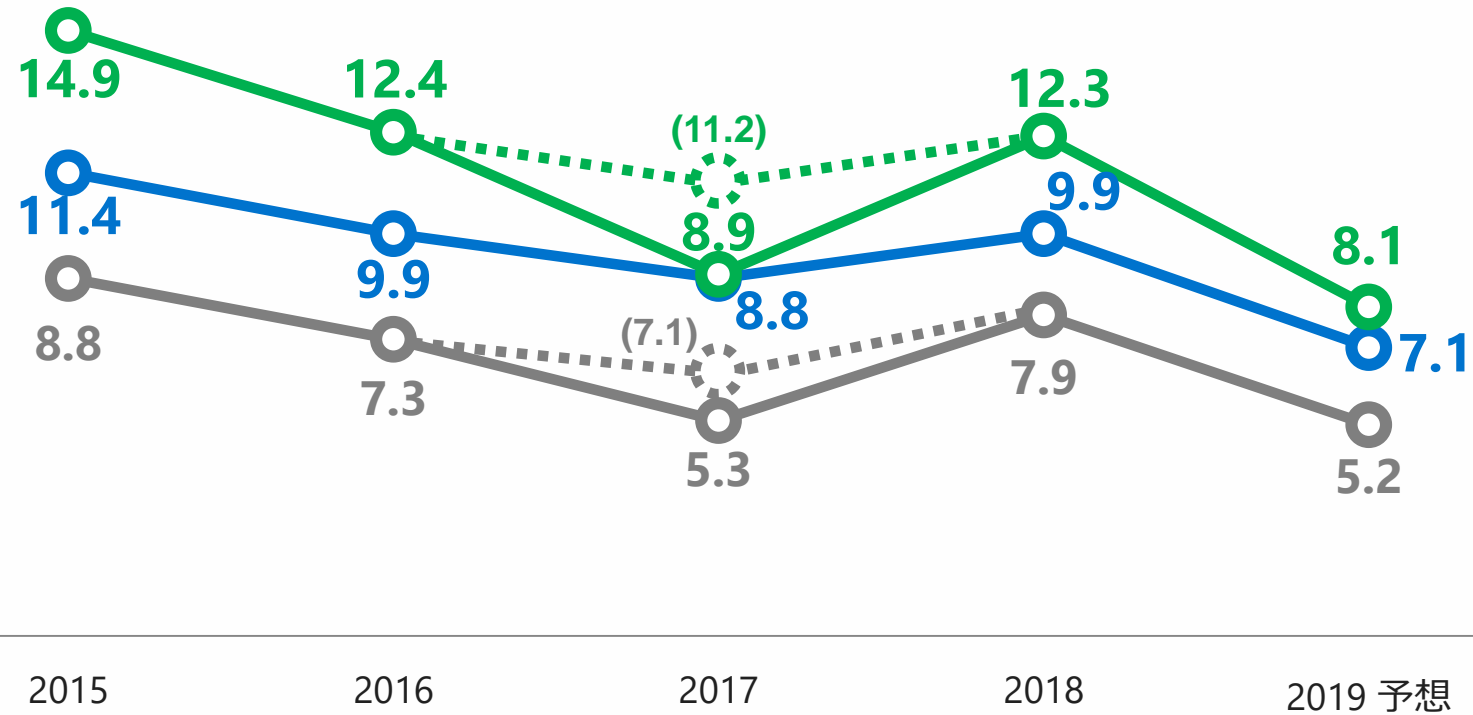
主要な経営指標の推移

(単位：%)

● 営業利益率

● ROA

● ROE



※ 2015年度は12ヶ月決算へ補正した数値
※ 点線は特損等の特殊要因を除いた場合